

マイアミマーリンズ ジャパンデーの開催

平成27年7月1日

6月28日、鈴木一朗選手（以下、イチロー選手）が所属するマイアミマーリンズ（以下、マーリンズ）主催のジャパンデー（Japanese Heritage Day）が開催されました。

このジャパンデーは、球団史上初の日本人選手としてイチロー選手がマーリンズに入団されたことをきっかけに、当館が協力し、マーリンズが初めて実施したものです（アジア圏としても初めて）。

当日は、試合前に日本人コミュニティからイチロー選手へ「マイアミへようこそ。」の意を込めて記念ユニフォームを贈呈いたしました。さらに、マーリンズからマイアミ補習校への寄付金贈呈式や、同校生徒によるプレイボール宣誓などのイベントが行われました。

試合中は、和太鼓とともに日本風の応援が行われました。参加者の多くは、カタカナで「マーリンズ」と記されたジャパンデー記念Tシャツを着用しましたが、着物や浴衣を着用された方々もあり、また、日本の楽曲が球場に流れるなど、球場の一角がまるで日本プロ野球の観客席を再現したかのような雰囲気になりました。地元のテレビ局も応援の様子や和太鼓によるパフォーマンスを取材するなど、イベントは大変盛況でした。

当地マイアミでは、多くの在留邦人の方々が一堂に会する行事は多くはありませんが、今回、まさにイチロー選手の人気のおかげで700名を超える方々が集まりました。このようなイベントを実施していただいたイチロー選手とマーリンズに心から感謝しております。

また、日本風の応援を行うために種々の準備をしていただいた方々や、応援の練習場所を用意していただいたマイアミ補習校など、多くの在留邦人の方々が尽力されたことを銘記しておきたいと思えます。



イチロー選手へのユニフォーム贈呈



観客席の様子